

平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月14日

上場会社名 株式会社ウェッジホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2388 URL http://www.wedge-hd.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 此下 竜矢  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 横山 幸弘 (TEL) 03-6225-2207  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	6,528	57.2	1,207	279.6	1,342	244.6	662	737.2
26年9月期第3四半期	4,152	17.5	317	△56.8	389	△52.6	79	△87.1

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 2,544百万円(682.2%) 26年9月期第3四半期 325百万円(△86.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	24.33	23.11
26年9月期第3四半期	2.91	2.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	33,899	14,386	21.4
26年9月期	27,651	11,098	21.6

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 7,261百万円 26年9月期 5,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0	—	0	0
27年9月期	—	0	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0	0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	45.1	1,600	414.2	1,700	337.0	850	953.6	31.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期3Q	27,296,600株	26年9月期	27,263,600株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	39,400株	26年9月期	39,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期3Q	27,226,249株	26年9月期3Q	27,224,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは当第3四半期連結累計期間においては、増収増益となりました。売上高は65億28百万円（前年同四半期比57.2%増）、営業利益は12億7百万円（同279.6%増）、経常利益は13億42百万円（同244.6%増）、四半期純利益は6億62百万円（同737.2%増）となりました。

これは、主にタイ王国ならびにカンボジア王国でのファイナンス事業の拡大と、利益率の上昇によってもたらされました。

当第3四半期連結累計期間における当社の関係するタイ王国、カンボジア王国をはじめとするCLMV諸国、日本などのマクロ経済につきましては、以下のような状況でありました。タイ王国はヨーロッパ並びに中国向け輸出の不調から成長は継続するものの徐行状況でありました。一方、カンボジア王国をはじめとするCLMV諸国は旺盛な国内需要を受けて極めて好調でありました。日本は改善の兆しが見られるものの一進一退でした。当社としては今後とも短期的な景気判断や収益に適切に対処しながらも囚われることなく、中長期的視点で経済成長する地域に適切に投資し、当社の成長を目指していくものです。

以上のように、当社グループの掲げる中期経営計画「アクセルプラン2015 ギア2「加速」」に定めた方針に基づき、事業展開を加速しております。

なお、上記金額に消費税等は含まれておりません。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (ファイナンス事業)

同事業の当第3四半期連結累計期間における業績は、増収増益となりました。ここ数年にわたって行ってまいりました事業拡大のための投資活動が成果を着実にあげており、現在においても中長期的な成長に向けての投資を継続しつつも利益が拡大したものです。

タイ王国ならびにカンボジア王国での営業活動の結果として営業貸付金が増加したことにより、四半期売上高が過去最高額を計上しました。同時にタイ王国において同事業の本来の収益性を回復すべく①抑制的な営業方針と②厳格な審査を継続しており、カンボジア王国において①営業エリアの拡大、②新規商品の投入、元々の強い利益体質に加えて③審査基準やファイナンス方法の現地化と高度化により利益が拡大しています。これにより大幅な利益増を実現しました。

同事業は、タイ証券取引所一部に上場する連結子会社のGroup Lease PCL. が営むオートバイファイナンスを中心とし、審査や回収のノウハウに独自性を持ち、ASEAN全域への展開を目指しております。アセアン全域で積極的な事業活動を展開するための投資的施策を実行してまいりました。現在、同事業では拡大すべき分野・地域と高度化により利益率を高める分野・地域が明確になっており、①タイ王国とカンボジア王国における新規商材の投入と営業範囲拡大、②タイ国内での審査厳格化方針の継続、③ラオス人民民主共和国における事業開始（5月ラオス中央銀行より免許取得済）などにより、上記売上ならびに利益の拡大傾向が継続すると考えております。

今後とも事業成長のため中長期的視点から投資を行うとともに、既存事業の収益向上に努めてまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における現地通貨建ての業績は、売上高は17億7百万バーツ（前年同期比46.7%増）、営業利益は3億88百万バーツ（同154.2%増）となりました。

又、連結業績に関しては円安が大きな影響を与え、円建ての業績では、売上高は61億48百万円（前年同期比67.6%増）、セグメント利益（営業利益）は13億78百万円（同198.8%増）となりました。

#### (コンテンツ事業)

同事業の第3四半期連結累計期間における業績は、減収減益となりました。これは当第3四半期連結累計期間がコンテンツの端境期の底となったこと、今後の受注となるコンテンツの営業的仕込み期間となったこと、中長期的な成長に向けての投資的活動期間になったこと等によるものです。

同事業は、主にトレーディングカードゲーム制作やエンターテインメント関連の書籍及び電子書籍の制作、音楽及び関連商品の製作を行っており、様々なコンテンツを商品化する企画制作・編集・制作に独自性を持ち展開しております。

当第3四半期連結累計期間は当社の扱うコンテンツの端境期、次の事業拡大への企画開発営業を進める時期となっております。すでに発表いたしましたように株式会社バンダイ様から「ICカードダス ドラゴンボール」のカードゲームを受注し、第4四半期に売上が開始いたします。このことに象徴されますように、その他の新規・既存コンテンツ等が第4四半期より収益貢献を開始すると考えており、今後は収益の拡大傾向になると考えております。

これらの諸活動の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高3億79百万円（前年同期比21.5%減）、セグメント利益（営業利益）は53百万円（同59.2%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて62億48百万円増加し、338億99百万円となりました。

流動資産は55億93百万円増加し、291億41百万円となりました。主な内訳はファイナンス事業における転換社債発行に伴う現金及び預金の増加25億28百万円、ファイナンス事業における契約残高増加に伴う営業貸付金の増加9億82百万円、短期貸付金の増加16億61百万円であります。

固定資産は6億54百万円増加し、47億57百万円となりました。主な内訳は有形固定資産の増加51百万円、投資その他の資産の増加6億4百万円であります。

流動負債は7億48百万円減少し、106億74百万円となりました。主な内訳は短期借入金の減少29億80百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加20億90百万円であります。

固定負債は37億8百万円増加し、88億37百万円となりました。主な内訳は転換社債の増加35億48百万円、社債の増加1億31百万円であります。

純資産は32億88百万円増加し、143億86百万円となりました。主な内訳は四半期純利益の計上による利益剰余金の増加6億62百万円、為替換算調整勘定の増加6億9百万円、少数株主持分の増加20億22百万円等であります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期通期連結業績予想につきましては、第3四半期までの達成状況を鑑み、売上高は前回発表を2億円上回る87億円、営業利益は前回発表を2億円上回る16億円、経常利益は前回発表と同額の17億円、当期純利益は前回発表を4億50百万円上回る8億50百万円を予定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,499,486	4,027,983
受取手形及び売掛金	103,031	100,426
営業貸付金	22,237,317	23,219,990
商品及び製品	8,303	7,188
仕掛品	16,784	17,470
原材料及び貯蔵品	76,100	114,001
短期貸付金	187,329	1,849,087
繰延税金資産	323,831	284,036
その他	861,838	1,170,427
貸倒引当金	△1,765,466	△1,648,756
流動資産合計	23,548,558	29,141,856
固定資産		
有形固定資産	326,262	378,054
無形固定資産		
のれん	720,840	820,479
その他	450,958	350,357
無形固定資産合計	1,171,799	1,170,837
投資その他の資産		
関係会社株式	1,689,321	2,110,293
長期貸付金	619,919	619,919
破産更生債権等	404,655	64,776
繰延税金資産	84,125	34,876
外国株式購入預託金	24,218	24,218
その他	186,199	416,692
貸倒引当金	△403,648	△61,888
投資その他の資産合計	2,604,792	3,208,888
固定資産合計	4,102,854	4,757,781
資産合計	27,651,412	33,899,637
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,216	58,151
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
短期借入金	4,352,932	1,372,421
1年内返済予定の長期借入金	6,457,880	8,547,885
未払法人税等	17,564	91,009
引当金	125,169	104,982
その他	377,517	480,432
流動負債合計	11,423,280	10,674,882
固定負債		
社債	1,691,034	1,822,093
転換社債	-	3,548,974
長期借入金	3,380,713	3,407,991
繰延税金負債	28,904	21,948
退職給付に係る負債	20,876	28,975
その他	8,305	7,973
固定負債合計	5,129,835	8,837,956

負債合計	16,553,116	19,512,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,956,525	1,960,631
資本剰余金	3,138,245	3,142,352
利益剰余金	286,577	949,063
自己株式	△40,961	△40,961
株主資本合計	5,340,387	6,011,085
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	640,602	1,250,044
その他の包括利益累計額合計	640,602	1,250,044
新株予約権	30,206	16,010
少数株主持分	5,087,100	7,109,658
純資産合計	11,098,296	14,386,798
負債純資産合計	27,651,412	33,899,637



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,152,637	6,528,387
売上原価	1,225,614	1,427,922
売上総利益	2,927,022	5,100,465
販売費及び一般管理費	2,609,041	3,893,257
営業利益	317,981	1,207,208
営業外収益		
受取利息	27,713	57,487
持分法による投資利益	70,642	116,730
為替差益	4,835	40,970
その他	819	2,566
営業外収益合計	104,010	217,755
営業外費用		
支払利息	855	1,826
社債利息	28,888	75,381
その他	2,782	5,663
営業外費用合計	32,527	82,871
経常利益	389,463	1,342,091
特別利益		
持分変動利益	33,543	312,420
特別利益合計	33,543	312,420
税金等調整前四半期純利益	423,007	1,654,512
法人税、住民税及び事業税	205,153	118,647
法人税等調整額	△69,983	134,717
法人税等合計	135,170	253,365
少数株主損益調整前四半期純利益	287,837	1,401,146
少数株主利益	208,705	738,661
四半期純利益	79,131	662,485

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	287,837	1,401,146
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	19,929	838,715
持分法適用会社に対する持分相当額	17,503	304,241
その他の包括利益合計	37,433	1,142,956
四半期包括利益	325,270	2,544,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,975	1,271,927
少数株主に係る四半期包括利益	226,294	1,272,176

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ファイ ナンス 事業	コンテ ンツ 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,668,129	483,543	4,151,673	963	4,152,637	—	4,152,637
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,668,129	483,543	4,151,673	963	4,152,637	—	4,152,637
セグメント利益 又は損失(△)	461,402	132,191	593,594	△154,027	439,566	△121,585	317,981

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業開発等及び投資育成事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△121,585千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ファイ ナンス 事業	コンテ ンツ 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	6,148,745	379,524	6,528,270	116	6,528,387	—	6,528,387
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,148,745	379,524	6,528,270	116	6,528,387	—	6,528,387
セグメント利益 又は損失(△)	1,378,487	53,911	1,432,399	△112,944	1,319,454	△112,246	1,207,208

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業開発等及び投資育成事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△112,246千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ファイナンス事業において、前連結会計年度にThanaban co., Ltd. の株式を新規取得したことに伴い暫定的に算定されたのれん140,446千円を計上しておりましたが、当第3四半期連結会計期間にて取得原価の配分が完了したことから、これを223,520千円に変更しております。